

清水先生挨拶



温かいご支援 ありがとうございました

前参議院議員
清水 嘉与子

熱中症で亡くなる高齢者の報道が続くなど、異常な暑さが続きました。そんな中で熱い参議院議員選挙を戦われた会員の皆様、本当にご苦労さまでした。

自民党にとっては大逆風の中で行われた選挙でしたが、大きな組織を持っている私達にとってはしっかりと組織を固めれば恐れることはない、との思いで臨んだ選挙でした。

それだけに、思わぬ結果に驚いています。政治に関心を持たない看護職が増えているのでしょうか、それでも現状の生活に満足してすべてお任せという看護

職が増えているのでしょうか。急速な高齢化社会到来の中で、たくさんの問題を抱えながら医療や福祉の分野で働く看護職には、きちんと自分に与えられた権利と義務を果たしてほしいと願います。

いずれにしても大きな課題を看護界が抱えることになりました。

さて、7月28日をもって、18年間の参議院議員の任期を終えさせていただきました。力不足でしたが、私なりに看護界の発展のため、またお年寄りや患者さんの医療・看護環境の充実に向けて努力をしてまいりました。資源循環型の社会づくりや京都議定書の遵守など、環境問題にも深く関わることが出来たことも幸いました。

渡邊会長のリーダーシップの下、多くの会員の皆様にお目にかかり、直接温かいご支援をいただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

会長挨拶



力不足 残念届かず

栃木県看護連盟会長
渡邊 瞳子

今年の夏は猛暑のうえに、燃えに燃えた選挙もあり、皆様もお疲れのことでしょう。

去る7月29日行われた、参議院選挙では看護協会が推薦した松原まなみさんに対して58万人を擁する組織団体からの票が集まらなかったことは何故でしょうか？無関心ですませてよろしいのでしょうか？

わが栃木県看護連盟と看護協会は協力し合ってきました。当然ですが実際の選挙活動は連盟が主体です。

14支部が一体となってきめ細かな戦術を駆使しました結果、前回より1946票多く目標の78パーセント、全国では25万票の目標に対し67パーセントで167,595票を獲得しました。目標に対し80パーセントでは当選しないのです。看護協会が掲げる政策を実現するためには看護協会がその気にならないと看護連盟だけでは限界であると言えます。

時代が変わり時の風に左右された選挙でした。

代表を送ることの困難さを痛いほど感じさせられました。50年にわたり先輩達が築いてきた努力を無にしてはならない。現在のやり方では不十分であることがわかりました。

今後は議員を出す意義や政治の理解を深め、活動する若い看護職を増やす必要があります。本部もシステムを考えているようです。

今回の看護連盟はリפורームによる14支部が機能したことが票の増加につながりました。

従って、もっと支部を増やしきめ細やかな活動をして行くことが必要不可欠です。

「松原まなみ」さんは人柄、見識を兼ね備えた素晴らしい人物です。次回も出ていただけるように組織を挙げてお願いしたいです。会員のみなさんのご努力に感謝しつつ、次なるステップへ踏み出しましょう。

結びに18年間にわたり参議院議員としてご活躍された清水嘉与子先生にお礼を申し上げたいと存じます。先生は「看護の日」をはじめ「人材確保法」、環境問題に関わる京都議定書など数々の法制定をご活躍されました。本当にありがとうございました。

今後共ご指導いただきたいと思います。